

科目コード N-201	専門分野 広がる場での看護	単位数	必修 1単位
授業科目名	地域・在宅看護概論	時間数	30時間
担当教員	専任教員	開講時期	1年前期
授業概要			
南和広域企業団の管轄医療圏である、1市2町の環境と暮らしについて「調べ学習」を通して地域の暮らしの理解を深め、暮らしが健康に与える影響について考える。 また、在宅療養者と家族を取り巻く社会環境、地域包括ケアシステム、健康づくりと介護予防について学び、地域・在宅看護活動の基盤となる概念を学ぶ。			
到達目標			
1. 南和広域企業団の管轄医療圏の生活環境と暮らしについて理解できる。 2. 生活環境と暮らしが健康に与える影響について意欲的に考えることができる。 3. 地域で生活する疾病や障害をもつ人々とその家族の特徴について説明できる。 4. 在宅看護の倫理と基本理念を理解することができる。 5. 在宅療養の対象をめぐる社会背景、保健医療福祉制度、施策、地域包括ケアシステムについて理論的・分析的な視点で考えることができる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☒ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☒ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	地域のなかでの暮らしと健康・看護、人々の暮らしと地域・在宅看護	講義	教室1
第2回	暮らしの理解する	講義	教室1
第3回	暮らしの基盤としての地域の理解	講義	教室1
第4回	地域の理解する	講義	教室1
第5回	地域在宅看護の対象	講義	教室1
第6回	家族看護・家族の理解する	講義	教室1
第7回	地域における暮らしを支える看護	講義	教室1
第8回	地域における暮らしを支える看護	講義	教室1
第9回	地域における暮らしを支える看護	講義	教室1
第10回	地域・在宅看護実践の場と連携	講義	教室1
第11回	多職種との連携・協働を考える	講義	教室1
第12回	南和広域医療企業団の役割と機能、管轄医療圏（1市2町の理解）	講義	教室1
第13回	南和広域医療企業団の管轄医療圏（1市2町の理解）	講義	教室1
第14回	南和広域医療企業団の管轄医療圏（1市2町の理解 発表・共有）	講義	教室1
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室1
準備学習等			
看護職は人々が、地域で健康的に暮らせるように支援します。そのためには、地域を理解することが不可欠です。自分の住居地域、南和地域、奈良県など自分の暮らす地域について興味を持って学びましょう。			
成績評価方法	筆記試験、グループワークの参加状況、レポート課題、発表により総合的に評価する		
テキスト 参考書	医学書院) 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基礎 、別巻: 家族看護学 メディックメディア) 公衆衛生がみえる ビジラン) 訪問看護において必要な倫理と態度		
受講要件・備考			

科目コード N-202	専門分野 広がる場での看護	単位数	必修 1単位
授業科目名	地域・在宅看護実践論1:災害に備える暮らし	時間数	15時間
担当教員	専任教員	開講時期	1年後期
授業概要			
地域で生活する人々の災害に備える健康な暮らしをGWを通して学習する。 それをもとに、地域に根ざした看護と看護学生の役割を考える。			
到達目標			
1. 南和地域における災害に備える健康な暮らしを考えることができる。 2. 南和地域における、地域に根ざした看護と南奈良看護学校生としての役割について考えることができる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☑1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☑2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☑3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☑4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☑5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☑6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	災害に備える健康な暮らしを考える(GW)	講義	教室1
第2回	(妊婦がいる家庭、乳幼児がいる家庭、障害者がいる家庭等様々な状況に応じた災害に備えた健康な暮らしを考える)	講義	教室1
第3回		講義	教室1
第4回	災害に備えた健康な暮らしを考える(GW発表)	講義	教室1
第5回	災害時の看護と看護学生の役割を考える	講義	教室1
第6回	災害時の看護と看護学生の役割を考える	講義	教室1
第7回	災害時の看護と看護学生の役割を考える	講義	教室1
第8回	単位認定試験	試験	教室1
準備学習等			
災害の頻度や規模の拡大し、被害が増大しています。まずは自分や家族の命と生活を守るように、考えていきましょう。			
成績評価方法	筆記試験、GW、演習の行動により総合的に評価する		
観点			
テキスト 参考書	医学書院) 地域・在宅看護の基盤 別巻: 家族看護・看護の統合と実践: 災害看護 メディックメディア) 公衆衛生がみえる ビジュラン) 目で見える災害看護		
受講要件 ・備考			

科目コード N-203	専門分野 広がる場での看護	単位数	必修 1単位
授業科目名	地域・在宅看護実践論2:南和地域の暮らしと地域包括ケア	時間数	30時間
担当教員	専任教員、南和広域医療企業団医師、奈良県職員	開講時期	2年前期
授業概要			
南和広域医療企業団の管轄医療圏(1市3町8村)で生活する人々や生活を支える保健・医療・福祉に従事する方々との交流をととして、地域における健康課題の抽出、地域包括システムについて理解する。福祉用具について、見学を通して実際を理解する。へき地医療支援の機能と役割を理解する。また、へき地に暮らす人々が主体的に生活を続けるための寄り添った支援を考える。			
到達目標			
1. フィールドワークを通して、地域で生活する人々の健康課題の抽出、地域包括ケアシステムについて意欲的に考えることができる。 2. へき地医療支援について理解し、へき地に暮らす人々の生活を継続的な支援に対する提言ができる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☒ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☒ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用	講義	教室2
第2回	施設見学(奈良県福祉パーク)	校外学習	福祉パーク
第3回	施設見学(奈良県福祉パーク)	校外学習	福祉パーク
第4回	へき地医療・保健・福祉の理解(7村の理解)	講義	教室2
第5回	へき地医療・保健・福祉の理解(7村の理解)	講義	教室2
第6回	奈良県南和地域の理解と地域包括ケアシステム(奈良県職員)	講義	教室2
第7回	へき地医療・保健・福祉の理解(医師)	講義	教室2
第8回	へき地医療・保健・福祉の理解(フィールドワークで訪問する村の理解)	講義	教室2
第9回	へき地医療・保健・福祉の理解(フィールドワークで訪問する村の理解)	講義	教室2
第10回	フィールドワーク(8村のいずれか)	校外学習	南和地域
第11回	フィールドワーク(8村のいずれか)	校外学習	南和地域
第12回	フィールドワーク(8村のいずれか)	校外学習	南和地域
第13回	へき地における健康課題の抽出と支援方法のまとめ	講義	教室2
第14回	へき地における健康課題の抽出と支援方法のまとめ(発表)(医師)	講義	教室2
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室2
準備学習等			
南和広域医療企業団の管轄医療圏について市町村のホームページ等を確認・学習して参加してください			
成績評価方法	試験、レポート課題、発表、演習参加状況による総合的評価		
テキスト 参考書	医学書院)地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護の実践 メディックメディア)公衆衛生がみえる		
受講要件 ・備考			

科目コード N-204	専門分野 広がる場での看護	単位数	必修 1単位
授業科目名	地域・在宅看護実践論3:暮らしを支える在宅ケア	時間数	30時間
担当教員	専任教員	開講時期	2年後期
授業概要			
在宅看護の展開について学び、ライフサイクル・家族構成に応じた療養上のリスクマネジメントに対する家族支援について学習する。また、在宅看護で求められる看護技術について学習する。			
到達目標			
1. ライフサイクル・家族構成に応じた療養上のリスクマネジメントの家族支援について意欲的に考えることができる。 2. 家族看護における権利保障について説明できる。 3. 在宅で求められる在宅技術に関する基礎知識について述べるができる。 4. 在宅で医療管理を要する人の看護の特徴について説明できる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☒ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☒ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	地域・在宅看護を展開するための基本理念と技術	講義	教室2
第2回	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用	講義	教室2
第3回	暮らしを支える看護技術:嚥下・摂食	講義	教室2
第4回	暮らしを支える看護技術:嚥下・摂食	講義	教室2
第5回	暮らしを支える看護技術:安全	講義	教室2
第6回	暮らしを支える看護技術:家族看護	講義	教室2
第7回	地域・在宅看護の介入時期別の看護の実際:外来・入院時	講義	教室2
第8回	地域・在宅看護の介入時期別の看護の実際:退院前	講義	教室2
第9回	地域・在宅看護の介入時期別の看護の実際:在宅移行期	講義	教室2
第10回	地域・在宅看護の介入時期別の看護の実際:リハビリテーション	講義	教室2
第11回	地域・在宅看護の介入時期別の看護の実際:急性増悪・終末期	講義	教室2
第12回	訪問看護の実際	講義	教室2
第13回	訪問看護	演習	在宅看護実習室
第14回	訪問看護	演習	在宅看護実習室
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室2
準備学習等			
在宅療養の基本的技術は基礎看護技術の応用です。知識や技術の復習をして臨みましょう。 成人・老年看護学概論、経過期別の看護を復習する。各年代の社会保障を学ぶ			
成績評価方法	学習課題、演習、授業参加状況、筆記試験を総合して評価する。		
テキスト 参考書	医学書院)地域・在宅看護の基盤、地域・在宅看護の実践 ビジュラン)看護のための対話学習 メディックメディア)公衆衛生がみえる		
受講要件 ・備考			

科目コード N-205	専門分野 広がる場での看護	単位数	必修 1単位
授業科目名	地域・在宅看護実践論4:様々な機能障害のある人の在宅ケア	時間数	30時間
担当教員	専任教員、南和広域医療企業団認定看護師・看護師	開講時期	2年後期
授業概要			
在宅療養者の疾患別の特徴を学習する。ライフサイクルにおける在宅看護の事例展開、脳神経系の疾患・慢性心不全、認知症、呼吸器疾患、独居の療養者、終末期、精神に疾患のある在宅看護の事例展開ができる。			
到達目標			
1. 在宅看護介入時期別の特徴を説明できる。 2. ライフサイクルにおける在宅看護の事例展開、医療的ケア児・脳神経系の疾患・神経難病、認知症、呼吸器疾患、終末期、精神に疾患のある在宅看護の事例展開について解説できる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえのない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☒ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☒ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	疾患別の地域・在宅看護の実践：家族が代行する医療的ケア児	講義	教室2
第2回	疾患別の地域・在宅看護の実践：介護困難な脳卒中の療養者	講義	教室2
第3回	疾患別の地域・在宅看護の実践：COPD	講義	教室2
第4回	疾患別の地域・在宅看護の実践：がん患者	講義	教室2
第5回	疾患別の地域・在宅看護の実践：パーキンソン病	講義	教室2
第6回	疾患別の地域・在宅看護の実践：筋委縮性側索硬化症(ALS)	講義	教室2
第7回	疾患別の地域・在宅看護の実践：統合失調症	講義	教室2
第8回	疾患別の地域・在宅看護の実践：認知症	講義	教室2
第9回	疾患別の地域・在宅看護の実践：慢性心不全	講義	教室2
第10回	疾患別の地域・在宅看護の実践：ターミナルケア	講義	教室2
第11回	多職種連携チームでの協働	講義	教室2
第12回	地域・在宅マネジメント	講義	教室2
第13回	経管栄養法・胃瘻	演習	教室2
第14回	経管栄養法・胃瘻	演習	教室2
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室2
準備学習等			
疾患別、経過期別看護の実践を理解しておく必要があります。復習して十分な知識を持って臨みましょう。			
成績評価方法	筆記試験、シミュレーション演習時の行動・演習記録による総合的評価		
テキスト 参考書	医学書院)地域・在宅看護の基盤、地域・在宅看護の実践 メディックメディア)公衆衛生が見える eナーストレーナー 地域・在宅看護過程 ビジラン)実践！看護技術シリーズ 終末期とその後の看護技術編		
受講要件 ・備考			

科目コード N-206	専門分野 広がる場での看護	単位数	必修 1単位
授業科目名	地域・在宅看護実践論5:在宅での看護過程の展開	時間数	30時間
担当教員	専任教員、南和広域医療企業団認定看護師	開講時期	2年後期
授業概要			
暮らしの中で行われる治療・看護について理解する。 在宅療養者の心身の状態や生活環境を総合的に把握し、在宅生活を支援するためのアセスメント能力を身につける。 臨地実習に向けて、PDCAサイクルを理解し、看護技術を根拠に基づいて実践し、自己評価と振り返りを実施する。			
到達目標			
1. 暮らしの中での治療・看護について理解する。 2. 対象者の全体像をとらえ、在宅生活を支援するためのアセスメントを行う。 3. PDCAサイクルを活用し、基本的看護技術を根拠に基づいて実践し、自己の評価・振り返りができる。			
ディプロマポリシーとの関連性			
☒ 1. 対象を身体的・精神的・社会的に統合されたかけがえない一人の生活者として理解している ☒ 2. 生命の尊厳と人権を尊重し、信頼関係を築く力を身につけている ☒ 3. 科学的根拠に基づき、健康課題に応じた基本的な看護を計画・実践・評価している ☒ 4. 地域社会の健康課題を理解し、多職種と連携・協働する姿勢を身につけている ☒ 5. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理的判断に基づいて行動している ☒ 6. 主体的かつ継続的に学び、専門性を高めながら社会に貢献しようとする姿勢を身につけている			
授業計画			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	暮らしの中で行われる治療と看護:褥瘡予防とケア・ストーマ管理	講義	教室2
第2回	暮らしの中で行われる治療と看護:栄養状態改善のケア	講義	教室2
第3回	暮らしの中で行われる治療と看護:輸液・中心静脈栄養	講義	教室2
第4回	暮らしの中で行われる治療と看護:膀胱留置カテーテル	講義	教室2
第5回	暮らしの中で行われる治療と看護:在宅酸素療法・人工呼吸療法	講義	教室2
第6回	暮らしの中で行われる治療と看護:疼痛緩和	講義	教室2
第7回	パフォーマンス評価 計画立案	講義	教室2
第8回	パフォーマンス評価 計画立案	講義	教室2
第9回	パフォーマンス評価	技術試験	基礎看護学実習室
第10回	パフォーマンス評価	技術試験	基礎看護学実習室
第11回	在宅療養者の情報収集とアセスメント	講義	教室2
第12回	在宅療養者の情報収集とアセスメント	講義	教室2
第13回	在宅療養者の情報収集とアセスメント	講義	教室2
第14回	在宅療養者の情報収集とアセスメント	講義	教室2
第15回	まとめと単位認定試験	筆記試験	教室2
準備学習等			
看護技術の応用を学びます。技術の復習、看護過程の復習をしておきましょう。			
成績評価方法	筆記試験・授業の参加状況・パフォーマンス・学習姿勢をもとに総合的評価		
テキスト 参考書	医学書院)地域・在宅看護の基盤、地域・在宅看護の実践 eナーストレーナー)地域・在宅看護過程 ビジュラン)在宅看護のためのアセスメント事例集		
受講要件 ・備考			